



清流中だより

清い流れは大海へ 未来へ漕ぎ出せ清流中！

令和8年度群馬県公立高等学校入学者選抜試験



今年度は2月19日～20日の2日間で実施されました。本校からも53人の生徒が受検をしました。昨年度から公立高等学校入試はG-smart（ジースマート）と呼ばれる専用システムに登録し、出願の手続きの大半を受検者自身が行いました。



3年生はすでに私立高校の入試を多くの生徒が受験し、第一志望が私立高校である場合には進路が決定している生徒もいます。しかし、公立高校を第一志望としている生徒は私立高校入試終了後も力をつけることを目標に取り組み、今回の受検に臨みました。当日までの間、受験勉強を日々継続して実力をつけるという準備をするのは当たり前ですが受検のための必須書類であるインタビューシート（自己PR）を作成したり、繰り返し面接練習をしたりして備えてきました。また、本番当日に実力が発揮できるよう、ご家庭では体調管理など気を配ってきたことと思います。**現在、3年生は受検を終え、少し緊張感から解き放たれた様子で過ごしています。お疲れ様でした。**

現在の1、2年生も、この入試日程にあわせて期末テストを実施しました。1年後もしくは2年後には自分の進路を最終決定する時期がやってきます。それまでの間に、**折りに触れてご家庭でも進路について話し合ったり、お子さん自身が気づかない本人の良さについて声かけ**をしたりしていただけますようお願いいたします。

桐生市いじめ防止子ども会議

テーマ あなたと私が認めあってつくる未来

～かけがえのない友達と自分を思いやり、わたしたちが考える責任ある行動～



↑ 本校の取組を他校に発表
1月27日（火）に桐生市いじめ防止子ども会議が行われました。この会議は、市内すべての小・中学校が、児童生徒による自主的ないじめ防止活動に取り組むための大切な会議で、毎年開催されています。本校でも、生徒会本部役員が代表して参加し、境野中・梅田中・相生中・新里中・桐大附属中の生徒とオンライン会議を行いました。当日は、自校のいじめ防止活動を紹介することや事例をもとに話し合うことを通じて、本校で今後できることではないかということを考える機会となりました。大切なのはこの会議に参加することではなく、**会議終了後、清流中として今後どのようないじめ防止活動を行っていくかの方向性を生徒会本部役員が示せるか**です。会議終了後、早速、担当教諭と今後の活動についての案が出されたようです。本部役員には、**学校がすべての生徒にとって安心して安全な場所となるような学校作りのために、生徒全員を巻き込んだいじめ防止活動を実践して欲しい**と思います。本格的な取組は新年度になるかもしれませんが、大いに期待したいと思います。



↑ 真剣に話し合い